

- 51) 庭野将広, 星名秀行, 高木律男, 加納浩之, 小林正治, 齊藤 力: 新潟大学医歯学総合病院口腔外科における骨移植・インプラントによる咬合再建. 第 67 回日本形成外科学会新潟地方会, 2005. 2. 14, 新潟.
- 52) 加納浩之, 小林正治, 加藤祐介, 高田佳之, 齊藤 力: 当科における矯正用インプラント (Skeletal Anchorage System) の使用経験. 第 67 回日本形成外科学会新潟地方会, 2005. 2. 14, 新潟.
- 53) 新美奏恵, 小林正治, 鈴木一郎, 富澤美恵子, 齊藤 力: 下唇への自傷行為を認めた Lesch-Nyhan syndrome の 1 例. 日本形成外科学会関東支部第 68 回新潟地方会, 2005. 7. 11, 新潟.
- 54) 中里隆之, 小林正治, 加納浩之, 八巻正樹, 星 隆夫, 齋藤 功, 齊藤 力: Skeletal Anchorage System (SAS) の有用性. 第 69 回日本形成外科学会新潟地方会, 2005. 11. 14, 新潟.
- 55) 芳澤享子, 小林正治, 齊藤 力, 小野和宏, 高木律男: 歯の移植に関する臨床的検討. 日本形成外科学会関東支部第 70 回新潟地方会, 2006. 2. 13, 新潟.
- 56) 平 周三, 林 孝文, 西山秀昌, 星名秀行, 芳澤享子, 勝良剛詞, 中島俊一, 小山純一, 田中 礼: 頭頸部癌症例の後発リンパ節転移診断における FDG-PET の応用. 第 46 回日本歯科放射線学会総会 2005. 5. 12-14, 新潟.
- 57) 程 磧, 丸山 智, 鈴木 誠, 芳澤享子, 齊藤 力, 西山秀昌, 林 孝文, 朔 敬: 舌腫瘍. 第 61 回日本病理学会東北支部総会 / 学術集会, 2005. 7. 23-24, 函館.
- 58) 船山昭典, 程 磧, 小林孝憲, 新垣 晋, 齊藤 力, 朔 敬: 口腔粘膜扁平上皮癌境界病変における上皮内血管侵入の認識. 第 94 回日本病理学会総会, 2005. 4. 14-16, 横浜.
- 59) 小島 拓, 網塚憲生, 鈴木晶子, 芳澤享子, 齊藤 力, 前田健康: ポリ乳酸プレートとハイドロキシアパタイト骨補填材を併用した骨増生の試み. 第 25 回日本骨形態計測学会学術集会, 2005. 6. 17-19, 東京.
- 60) 下村淳子, 網塚憲生, 小島 拓, 下岡正八: 培養骨芽細胞および軟骨細胞における変異型 PTH/PTHrP 受容体の細胞内局在. 第 43 回日本小児歯科学会大会, 2005. 5. 26-27, 仙台.
- 61) 高田佳之, 小林正治, 泉 直也, 岩本忠士, 齊藤 力: 閉塞型睡眠呼吸障害に対する口腔内装置の効果について - 上下分離型と一体型の比較検討 - . 日本睡眠学会第 30 回定期学術集会 2005. 6. 30-7. 1, 宇都宮.
- 62) 小林正治, 高田佳之, 泉 直也, 齋藤 功, 齊藤 力: 閉塞型睡眠呼吸障害になり易い日本人 - リスクファクター解明への歯科的アプローチ - . 第 21 回歯科医学を中心とした総合的な研究を推進する集

い, 2005. 1. 8, 東京.

- 63) 寺師浩人, 横尾 聡, 古森孝英, 田原真也, 泉 健次, 芳澤享子, 鈴木一郎, 齊藤 力, 古田 勲: 安全な培養複合口腔粘膜の作製方法とその臨床応用. 第 35 回日本創傷治癒学会, 2005. 12. 5-6, 東京.

【研究会発表】

- 1) 小田陽平, 金丸祥平, 船山昭典, 中里隆之, 新美奏恵, 新垣 晋, 齊藤 力: 口腔がんに対する TXT+CDDP+5FU 導入化学療法 of 検討. 第 6 回新潟口腔癌化学療法研究会, 2005. 5. 27, 新潟.
- 2) 小田陽平, 金丸祥平, 船山昭典, 中里隆之, 新美奏恵, 新垣 晋, 齊藤 力: 頭頸部がん早期後発転移症例の臨床的検討. 新潟癌治療研究会 2005. 7. 16, 新潟.
- 3) 岩本忠士: 再発を認めた多形低悪性度腺癌 (PLGA) の一例. 第 56 回新潟口腔外科麻酔科集談会, 2005. 6. 9, 新潟.
- 4) 芝加奈子: 原発巣切除 5 年経過後, 頸部リンパ節に転移を認めた若年者粘表皮癌の一例. 第 57 回新潟口腔外科麻酔科集談会, 2005. 11. 10, 新潟.

顎顔面口腔外科学分野

【論文】

- 1) Kodama Y., Miyazawa M., Fukuda J., Iida A., Ono K., Takagi R.: Progressive hemifacial atrophy treated by orthodontic surgery. *Oral Science Int.*, 2(2): 131-135, 2005.
- 2) Kazi S. H., Amizuka N., Ikeda N., Nozawa-Inoue K., Suzuki A., Li M., Takeuchi K., Aita M., Kawano Y., Hoshino M., Oda K., Takagi R., Maeda T.: Histochemical Evidences on the Chronological Alterations of the Hypertrophic Zone of Mandibular Condylar Cartilage. *Microsc. Res. Tech.*, 67: 325-335, 2005.
- 3) Aita M., Seo K., Fujiwara N., Takagi R., Maeda T.: Postnatal changes in the spatial distributions of substance P and neurokinin-1 receptor in the trigeminal subnucleus caudalis of mice. *Dev. Brain Res.*, 155: 33-41, 2005.
- 4) Suzuki A., Nozawa-Inoue K., Ikeda N., Amizuka N., Ono K., Takagi R., Maeda T.: Development of the Articular Cavity in the Rat Temporomandibular Joint With Special Reference to the Behavior of Endothelial Cells and Macrophages. *Anat. Rec. Part A.*, 286: 908-916, 2005.
- 5) Iida A., Narai S., Takagi R., Ono K., Ikeda N.: Blepharo-Cheilo-Dontic (BCD) Syndrome: Case Report. *Cleft Palate-Craniofacial Journal*: 43(2),

- 237-243 2005.
- 6) Aita M., Maeda T., Takagi R., Seo K.: Postnatal development of substance P-immunoreaction in the trigeminal caudalis of neonatally capsaicin-treated mice. *Arch Histol Cytol.* 68(4): 311-320, 2005.
- 7) Maruyama Y., Harada F., Jabbar S., Saito I., Aita M., Kawano Y., Suzuki A., Nozawa-Inoue K., Maeda T.: Neurotrophin-4/5-depletion induces a delay in maturation of the periodontal Ruffini endings in mice. *Arch Histol Cytol.* 68(4):267-288, 2005.
- 8) Kubota T., Yoshikai Y., Tamura Y., Mishima Y., Aoyagi Y., Niwa O., Kominami R.: Comparison of properties of spontaneous and radiation-induced mouse thymic lymphomas: role of Trp53 and radiation. *Radiat Res.* 163(2):159-164, 2005.
- 9) 大久保博基, 藤田 一, 高木律男: 日本人家系における唇裂・唇顎口蓋裂に関する候補遺伝子(F13A1, D16S539, BCL 3)の解析. *新潟歯学会誌*, 35(1): 11-18, 2005. (Ookubo H., Hujita H., Takagi R.: Candidate gene analysis at F13A1, D16S539, and BCL3 loci regarding to non-syndromic cleft lip with or without cleft palate in Japanese families. *Niigata Dent. J.*, 35(1): 11-18, 2005.)
- 10) 津端久美子, 福田純一, 藤田 一, 安島久雄, 小野和宏, 高木律男: 若年者の顎矯正手術後に生じた深部静脈血栓症の1例. *日口外誌*, 51(10): 520-523, 2005. (Tsubata K., Hukuda J., Fujita H., Ajima H., Ono K., Takagi R.: A case of deep venous thrombosis after orthognathic surgery in a young adult. *Jpn. J. Oral Maxillofac. Surg.*, 51(10): 520-523, 2005.)
- 11) 荒木孝二, 高木律男, 金澤英作, 池尾 隆: シンポジウム・歯科医学教育のカリキュラム改革. *日歯教誌*, 21(3): 13-21, 2005. (Araki K., Takagi R., Kanazawa E., Ikee T.: Trials on new curriculum for dental students of four faculties. *JJDEA.*, 21(3): 13-21, 2005.)
- 12) 安島久雄, 高木律男, 今井信行, 小野和宏, 飯田明彦, 嵐山貴徳: 小児開口障害の2例. *小児口外*, 15(2): 118-124, 2005. (Ajima H., Takagi R., Imai N., Ono K., Iida A., Arashiyama T.: Two cases of mandibular hypomobility in an infant. *POMS.*15(2): 118-124, 2005.)
- 2) 高木律男, 中野 久: シリーズ全身疾患とオーラルヘルス 第9回 精神疾患を有する患者の歯科治療. *ザ・クインテッセンス*, 24(9): 190-191, 2005.
- 3) 小野和宏(分担): 新しい医学教育の流れ'04 医学教育セミナーとワークショップの記録. 高橋優三, 鈴木康之編集. 三恵社, 名古屋, 378-379, 2005.
- 【その他】
- 1) 小野和宏: マルメ留学アルバム. *新潟大学歯学部口腔外科歯科麻酔科同門会会誌*, 21: 15-19, 2005.
- 2) 小野和宏: 新潟大学歯学部におけるPBL教育の導入と実践 - マルメ大学の歯学教育を体験して - . *新潟大学歯学部口腔外科・歯科麻酔科同門会会誌*, 21: 47-52, 2005.
- 3) 小野和宏: 新入生合宿研修を終えて - 新入生合宿研修の目的と意義 - . *歯学部ニュース*, 平成17年度第1号(通算107号): 66-67, 2005.
- 【学会発表】
- 1) Nagata M., Fujita H., Hoshina H., Seki Y., Kodama N., Kitamura N., Onishi M., Kurita H., Shingaki S., Saito C., Saku T., Takagi R.: Expression level of integrin related genes as biomarkers for malignancy of tongue squamous cell carcinoma. 17th International Conference on Oral and Maxillofacial Surgery (ICOMS), Vienna, Austria, 8.28-9.4, 2005.
- 2) Hoshina H., Takagi R., Nagata M., Fujita H., Nagashima K., Tsurumaki H.: Clinicopathological study on 20 cases of oropharynx cancer. 17th International Conference on Oral and Maxillofacial Surgery (ICOMS), Vienna, Austria, 8.28-9.4, 2005.
- 3) Aita M., Maeda T., Takagi R., Seo K.: Postnatal changes in localization of substance P in the trigeminal caudalis of capsaicin treated mice. *Dentin/Pulp Complex Meeting 2005*, Dusseldorf, Germany, 9. 18-20, 2005.
- 4) Aita M., Maeda T., Takagi R., Seo K.: Different effects of neonatal capsaicin treatment on the spatial distribution of substance P and CGRP in the trigeminal caudalis. *Society for Neuroscience 35th Annual Meeting*, Washington, DC, 11.12-16, 2005.
- 5) Narai S., Kodama Y., Takagi R., Kominami R.: Effect of p53-dependent apoptosis on the development of cleft lip and palate. *The 48th Annual Meeting of The Japan Radiation Research Society & The 1st Asian Congress of Radiation*
- 【著書】
- 1) 高木律男(共訳): *CDC2003 歯科臨床における院内感染予防ガイドライン*. 池田正一 編訳 2005.

- Research, Hiroshima, 11.15-17, 2005.
- 6) 小林孝憲, 依田浩子, 丸山 智, 程 磧, 高木律男, 朔 敬: 口腔粘膜扁平上皮癌の浸潤とは腫瘍間質が誘導されることと同義である. 第 94 回日本病理学会総会, 横浜市, 2005 年 4 月 14-16 日.
 - 7) 船山昭典, 程 磧, 小林孝憲, 新垣 晋, 齊藤力, 朔 敬: 口腔粘膜扁平上皮癌境界病変における上皮内血管侵入の認識. 第 94 回日本病理学会総会, 横浜市, 2005 年 4 月 14-16 日.
 - 8) 庭野将広, 星名秀行, 小野和宏, 飯田明彦, 高木律男, 加納浩之, 小島 拓, 小林正治, 高田佳之, 齊藤力: 新潟大学医歯学総合病院口腔外科における骨移植・インプラント症例の検討. 平成 17 年度新潟歯学会総会, 新潟市, 2005 年 4 月 16 日.
 - 9) 西澤理史歩, 永田昌毅, 藤田 一, 星名秀行, 栗田 浩, 大西 真, 新垣 晋, 高木律男: MMP-1 遺伝子多型は口腔扁平上皮癌の易罹病性に関連する. 第 59 回日本口腔科学会総会 徳島市 2005 年 4 月 21-22 日.
 - 10) 嵐山貴徳, 飯田明彦, 小林孝憲, 程 磧, 朔 敬, 高木律男: 顎下腺唾石に併発した腺様嚢胞癌の 1 例. 第 59 回日本口腔科学会総会, 徳島市, 2005 年 4 月 21-22 日.
 - 11) 高山裕司, 永田昌毅, 高木律男: 関節円板復位時に閉口障害を呈した顎関節内障の 1 例. 第 31 回日本口腔外科学会北日本地方会, 札幌市, 2005 年 5 月 20 日.
 - 12) 山中正文, 高木律男, 星名秀行, 飯田明彦, 福田純一: 鼻齒槽嚢胞の 2 例. 第 31 回日本口腔外科学会北日本地方会, 札幌市, 2005 年 5 月 20-21 日.
 - 13) 寺尾恵美子, 小野和宏, 永田昌毅, 飯田明彦, 高木律男: Furlow 法を用いた Hotz 床併用二段階口蓋形成手術法による言語機能 - 4 歳時から硬口蓋閉鎖術後までの評価 -. 第 29 回日本口蓋裂学会総会. 東京, 2005 年 5 月 25-26 日.
 - 14) 小野和宏, 朝日藤寿一, 毛利 環, 八巻正樹, 森田修一, 寺尾恵美子, 高木律男, 幸地省子, 須佐美隆史, 大塚純正, 根来武史, 館村 卓: 多施設共同研究にむけた資料採取の基準作成. 第 29 回日本口蓋裂学会総会. 東京, 2005 年 5 月 25-26 日.
 - 15) 飯田明彦, 高木律男, 小野和宏, 永田昌毅, 寺尾恵美子, 児玉泰光, 小山貴寛, 小林孝憲, 奈良井省太: 二段階法における Furlow 法による軟口蓋形成後の硬口蓋裂の推移と硬口蓋閉鎖術について. 第 29 回日本口蓋裂学会総会, 東京, 2005 年 5 月 25-26 日.
 - 16) 津端久美子, 福田純一, 高木律男, 小野和宏, 寺田員人: 矯正治療により歯の移動が不可能であった歯に対する外科的治療. 第 15 回日本顎変形症学会総会, 徳島市, 2005 年 6 月 2-3 日.
 - 17) 福田純一, 高木律男, 小野和宏, 星名秀行, 飯田明彦, 児玉泰光: 下顎枝垂直骨切術直後に骨片の接触不良が認められた症例の検討. 第 15 回日本顎変形症学会総会, 徳島市, 2005 年 6 月 2-3 日.
 - 18) 安島久雄, 小山貴寛, 小野和宏, 高木律男, 小林正治, 程 磧, 瀬尾憲司, 西山秀昌, 林 孝文, 齋藤 功, 前田健康, 山田好秋: PBL チュートリアルにおける学生の学習態度に関する評価. 第 24 回歯科医学教育学会総会・学術大会, 徳島市, 2005 年 7 月 7-8 日.
 - 19) 小野和宏, 林 孝文, 前田健康, 小林正治, 安島久雄, 瀬尾憲司, 程 磧, 齋藤 功, 西山秀昌: 歯科医学教育への PBL テュートリアル導入に対する学生の評価. 第 24 回日本歯科医学教育学会総会・学術大会. 徳島市, 2005 年 7 月 7-8 日.
 - 20) 芳澤享子, 小山貴寛, 中西義崇, 小野由起子, 飯田明彦, 鈴木一郎, 齊藤 力, 高木律男: 動物由来物質を含まない培養システムで作製した培養口腔粘膜の開発. 第 15 回日本口腔粘膜学会総会, 熊本市, 2005 年 7 月 7-8 日.
 - 21) 児玉泰光, 高木律男, 飯田明彦, 猪本正人, 大鳥居淳, 山中正文, 神田健史, 高宮治生: 佐渡市立両津病院歯科口腔外科における抗血栓療法患者の非休薬観血処置 ~ 当科の対応とアンケート調査からの考察 ~. 平成 17 年度新潟歯学会第 1 回例会, 新潟市, 2005 年 7 月 9 日.
 - 22) 西澤理史歩, 永田昌毅, 藤田 一, 星名秀行, 板垣真奈美, 久保田健彦, 勝良剛詞, 新垣 晋, 栗田 浩, 大西 真, 吉江弘正, 高木律男: MMP-1 遺伝子多型は口腔扁平上皮癌の易罹病性に関連する. 平成 17 年度新潟歯学会第 1 回例会, 新潟市, 2005 年 7 月 9 日.
 - 23) 近藤千鶴, 郷梨江香, 佐々木美紀, 林 孝文, 朔 敬, 程 磧, 芳澤享子, 高木律男: 慢性硬化性唾液腺炎における造影 CT による増強効果の経時的変化の有用性. 平成 17 年度新潟歯学会第 1 回例会, 新潟市, 2005 年 7 月 9 日.
 - 24) 小林孝憲, 依田浩子, 丸山 智, 程 磧, 高木律男, 朔 敬: 口腔粘膜悪性境界病変の病理組織学的診断根拠としての機能性分子発現様式の解析. 平成 17 年度新潟歯学会第 1 回例会, 新潟市, 2005 年 7 月 9 日.
 - 25) 飯田明彦, 高木律男, 小野和宏, 永田昌毅, 寺尾恵美子, 児玉泰光: 二段階法における Furlow 法による軟口蓋形成後の硬口蓋裂の推移と硬口蓋閉鎖術について. 第 68 回日本形成外科学会新潟地方会, 新潟市, 2005 年 7 月 11 日.
 - 26) 山田裕士, 安島久雄, 池田順行, 庭野将広, 大鳥居淳, 八木 稔, 高木律男: 小中学校児童生徒における顎

- 関節雑音の推移～3年間の継続検診～. 第17回日本学関節学会総会, 松江市, 2005年7月30-31日.
- 27) 池田順行, Kazi S.H., 井上佳世子, 鈴木晶子, 高木律男, 前田健康, 網塚憲生: 生後マウスにおける下顎頭軟骨の経時的観察. 第18回日本顎関節学会総会, 松江市, 2005年7月30-31日.
- 28) 安島久雄, 荒井良明, 山田裕士, 池田順行, 庭野将広, 大鳥居淳, 高木律男, 鈴木 誠: 腫瘍を疑わせた慢性顎関節炎の1例. 第17回日本学関節学会総会, 松江市, 2005年7月30-31日.
- 29) 寺尾恵美子, 前新直志: 口蓋切歯乳頭部の神経痛によって発話困難を訴えた症例 - 第2報 プレート装着後の言語訓練 -. 日本特殊教育学会第43回大会, 金沢市, 2005年9月23-25日.
- 30) 星名秀行, 佐藤孝弘, 櫻井直樹, 齋藤 憲: 下顎骨前歯部骨折後の不正咬合に対し骨切り・骨移植インプラントにより咬合再建した1例. 第35回日本口腔インプラント学会総会, 弘前市, 2006年9月17-18日.
- 31) Syafriadi M., 程 磧, 小林孝憲, 朔 敬: Histopathological differential diagnosis between oral carcinoma in-situ and squamous epithelial dysplasia by p53 mutational status and its protein expression. 第47回日本歯科基礎医学会総会, 仙台, 2005年9月29-30日.
- 32) 船山昭典, 程 磧, 小林孝憲, 丸山 智, 新垣 晋, 齊藤 力, 朔 敬: 口腔粘膜扁平上皮癌境界病変におけるリンパ管の分布様式. 第47回日本歯科基礎医学会総会, 仙台, 2005年9月29-30日.
- 33) 相田 恵, 前田健康, 高木律男, 瀬尾憲司: カプサイシン処理マウスの三叉神経尾側核におけるサブスタンスP陽性ニューロンの分布の生後変化. 第47回歯科基礎医学会学術大会・総会, 仙台市, 2005年9月29-30日.
- 34) 勝見祐二, 飯田明彦, 小林孝憲, 池田順行, 高木律男: 再発を繰り返し舌下腺摘出にいたった先天性ガマ腫の1例. 第17回小児口腔外科学会, 岡山市, 2005年10月8日.
- 35) 藤田 一, 永田昌毅, 星名秀行, 西澤理史歩, 高木律男, 吉江弘正: 口腔扁平苔癬におけるサイトカイン遺伝子8種類のSNP分析. 第50回日本口腔外科学会総会, 大阪市, 2005年10月24-25日.
- 36) 小山貴寛, 芳澤享子, 小野和宏, 小林正治, 齊藤 力, 高木律男: 歯の即時自家移植の臨床的検討 - 受容部抜歯時期について -. 第50回日本口腔外科学会総会, 大阪, 2005年10月23-25日.
- 37) 安島久雄, 笠井直栄, 嵐山貴徳, 飯田明彦, 星名秀行, 高木律男, 程 磧, 朔 敬: 診断に苦慮した Polymorphous low-grade adenocarcinoma (PLGA) の1例. 第50回日本口腔外科学会総会, 大阪市, 2005年10月23-25日.
- 38) 金澤 香, 柴田孝典, 戸塚靖則, 濱本宣興, 高木律男, 木野孔司, 米津博文, 久保田英朗, 栗田賢一, 覚道健治, 甲斐貞子, 高橋 哲: 顎関節症におけるサイトカイン遺伝子多型に関する多施設共同研究. 第50回日本口腔外科学会, 大阪市, 2005年10月24-25日.
- 39) 黒川 亮, 永田昌毅, 星名秀行, 藤田 一, 関 雪絵, 大西 真, 栗田 浩, 齊藤 力, 新垣 晋, 朔 敬, 高木律男: 舌癌悪性度に関連するインテグリン遺伝子発現の定量的検討, 平成17年度新潟歯学会第2回例会, 新潟市, 2005年11月5日.
- 40) 小玉直樹, 永田昌毅, 高木律男: FGF2徐放をもたらす歯槽骨増生現象のメカニズム解析. 平成17年度新潟歯学会第2回例会, 新潟市, 2005年11月5日.
- 41) 奈良井省太, 児玉泰光, 高木律男, 木南 凌: 口唇口蓋裂発生に及ぼすp53依存性アポトーシスの影響. 平成17年度新潟歯学会第2回例会, 2005年11月5日.
- 42) 福田純一, 高木律男, 小野和宏, 星名秀行, 飯田明彦, 児玉泰光: 下顎枝垂直骨切り術直後に骨片の接触不良が認められた症例の検討. 第69回日本形成外科学会新潟地方会, 新潟市, 2005年11月14日.
- 43) 金澤 香, 柴田孝典, 高木律男, 濱本宣興: 顎関節症におけるサイトカイン遺伝子多型に関する多施設共同研究 - 第1報 -. 53rd JADR, 岡山市, 2005年11月26-27日.
- 44) 山中正文, 高木律男, 下条文武, 塚田弘樹, 内山正子: HIV感染者に対する歯科診療体制整備に向けて - HIV感染者へのアンケートより -. 第19回日本エイズ学会, 熊本市, 2005年12月1-3日.
- 45) 高木律男, 山中正文, 下条文武, 塚田弘樹, 内山正子: HIV感染者に対する歯科診療体制整備に向けて - 歯科医師へのアンケートより -. 第19回日本エイズ学会, 熊本市, 2005年12月1-3日.
- 46) 田上 正, 池田正一, 小森康雄, 高木律男, 宮田 勝, 連 利隆, 北川善政, 山口 泰, 玉城廣保, 吉野 宏: HIV感染者の唾液中のHIV-RNA定量. 第19回日本エイズ学会, 熊本市, 2005年12月1-3日.
- 47) 星名秀行, 荒井良明, 佐藤孝弘, 青柳貴之, 藤田 一, 齋藤正直, 高木律男: 放射線療法後に腓骨・インプラント義歯により咬合再建を行った口腔癌の2例. 第24回日本口腔腫瘍学会, 北九州市, 2006年1月26-27日.
- 48) 児玉泰光, 高木律男, 小野和宏, 福田純一, 渡邊直子, 齋藤 功: カスタムメイド人工骨を用い顔面非対称

を改善した Hemifacial microsomia の 1 例. 第 70 回日本形成外科学会新潟地方会, 新潟市, 2006 年 2 月 13 日.

【研究会発表】

- 1) 青柳貴之, 星名秀行, 永田昌毅, 藤田 一, 高木律男: 口腔癌 8 例に対する補助化学療法の効果と安全性. 第 6 回新潟口腔癌化学療法研究会, 新潟市, 2005 年 5 月 27 日.
- 2) 勝見祐二: 再発を繰り返し舌下腺摘出にいたった先天性ガマ腫の 1 例. 第 56 回新潟口腔外科麻酔科集談会, 新潟市, 2005 年 6 月 9 日.
- 3) 星名秀行, 田中 賢, 長島克弘, 永田昌毅, 藤田 一, 高木律男: ハムスター頬粘膜癌に対する温熱化学 (TXT) 療法の抗腫瘍効果. 第 19 回新潟ハイパーサーミア研究会, 新潟市, 2005 年 6 月 10 日.
- 4) 西澤理史歩, 永田昌毅, 藤田 一, 星名秀行, 板垣真奈美, 久保田健彦, 新垣 晋, 栗田 浩, 大西 真, 吉江弘正, 高木律男: MMP-1 遺伝子多型は口腔扁平上皮癌の易罹病性に関連する. 第 5 回新潟ゲノム医学研究会, 新潟市, 2005 年 6 月 18 日.
- 5) 永田昌毅, 藤田 一, 星名秀行, 関 雪絵, 小玉直樹, 黒川 亮, 西澤理史歩, 北村信隆, 大西 真, 栗田 浩, 新垣 晋, 高木律男: 舌癌組織内インテグリンおよびテトラスパンイン遺伝子群の悪性度マーカーとしての有用性検討. 第 65 回新潟癌治療研究会, 新潟市, 2005 年 7 月 16 日.
- 6) 寺尾恵美子: Furrow 法を用いた Hotz 床併用二段階口蓋形成手術法による言語機能 - 4 歳時から硬口蓋閉鎖術後まで -. 第 29 回日本口蓋裂学会, 新潟言語障害児懇談会, 新潟市, 2005 年 7 月 16 日.
- 7) 中間純子: 下顎骨に発生した巨大な複雑性歯牙腫の 1 例. 第 57 回新潟口腔外科歯科麻酔科集談会, 新潟市, 2005 年 11 月 10 日.

【講演・シンポジウム・その他】

- 1) Takagi R.: Reconsideration on the management of TMD including diagnosis and treatment. Annual Meeting of Philippine Dental Association, Manila, Philippine, 5,5, 2005.
- 2) 高木律男: 口唇口蓋裂ってどんな病気? どうやって治るの?. 第 19 回母親教室, 口蓋裂診療班運営委員会, 新潟市, 2005 年 5 月 10 日.
- 3) 高木律男: 研修医セミナー (公開)「感染対策」. 新潟市, 2005 年 5 月 17 日.
- 4) 高木律男: ミニシンポジウム「抜歯術手技の教育法」新潟大学歯学部. 第 31 回日本口腔外科学会北日本地方会, 札幌市, 2005 年 5 月 20 日.

- 5) 高木律男: シンポジウム 「歯科医学教育カリキュラム改革」. 第 24 回歯科医学教育学会 総会・学術大会, 徳島市, 2005 年 7 月 7 日.
- 6) 高木律男: 感染対策. 医歯学総合病院歯科院内感染勉強会, 新潟市, 2005 年 7 月 22 日.
- 7) 高木律男: 顎関節症に対する血管系の関与と開業医における治療の考え方. 飯田下伊那臨床研究懇談会, 2005 年 8 月 20 日.
- 8) 武藤祐一: 大学院特別セミナー主宰「病院歯科におけるインプラント治療の現況」. 2005 年 9 月 9 日.
- 9) 舘村 卓: 大学院特別セミナー主宰「声を作らない構音機能」. 2005 年 10 月 7 日.
- 10) 寺尾恵美子: 口蓋裂児の言語治療. 第 20 回母親教室, 口蓋裂診療班運営委員会, 新潟市, 2005 年 10 月 18 日.
- 11) 高木律男: 新任教員研修会・病院組織とシステム (院内感染対策, 医療事故防止, ISO, 病院機能評価), 新潟市, 2005 年 11 月 2 日.
- 12) 中野 久: 大学院特別セミナー主宰「精神障害者の歯科治療」. 2006 年 1 月 31 日.
- 13) 今井信行: 大学院特別セミナー主宰「摂食嚥下障害患者の管理」. 2006 年 2 月 28 日.

【科学研究費等】

- 1) 研究代表者 藤田 一: IgG 受容体遺伝子多型は口腔扁平苔癬の疾患感受性マーカーになりうるか. 平成 17-18 年度日本学術振興会科学研究費補助金, 基盤研究 (C), 課題番号 17592067, 計 3,500 千円.
- 2) 研究代表者 高木律男: バイオマーカー発現定量による口腔癌の高精度個性診断の実用化. 平成 17-19 年度日本学術振興会科学研究費補助金, 基盤研究 (B)(2), 課題番号 17390532, 計 1,302 千円.
- 3) 研究代表者 安島久雄: 顔面頭蓋の形態異常を伴う CL/Fr 系マウス顎関節の組織学的及び分子生物学的検討. 平成 17-18 年度日本学術振興会科学研究費補助金, 基盤研究 (C), 課題番号 17791442, 計 3,300 千円.
- 4) 研究代表者 永田昌毅: FGF2 含浸ゼラチンハイドロゲルによる歯槽骨再生現象と分子生物学的機序の解明. 平成 16-17 年度日本学術振興会科学研究費補助金, 基盤研究 (C), 課題番号 16591986, 計 3,600 千円.
- 5) 研究代表者 高木律男: 口唇裂発症を伴う胎仔顔面突起に特徴的な分子発現様相の探索. 平成 17-18 年度日本学術振興会科学研究費補助金, 萌芽研究, 課題番号 17659630, 計 3,200 千円.
- 6) 研究代表者 児玉泰光: 口唇口蓋裂発症における p53 遺伝子依存性アポトーシスの影響. 平成 17 年

度新潟大学プロジェクト推進経費, 若手研究者奨励研究, 計 800 千円.

- 7) 研究代表者 藤田 一: 口腔多発癌における免疫関連遺伝子多型を用いた有用な疾患感受性マーカーの選定. 平成 17 年度新潟大学プロジェクト推進経費, 若手研究者奨励研究, 計 931 千円.

【研究成果報告書】

- 1) 研究代表者 永田昌毅: FGF2 含浸ゼラチンハイドロゲルによる歯槽骨再生現象と分子生物学的機序の解明. 平成 15-16 年度日本学術振興会科学研究費補助金, 基盤研究(C)(2), 課題番号 16591986, 2006 年 3 月.

【学会賞受賞】

- 1) 藤田 一, 永田昌毅, 星名秀行, 西澤理史歩, 高木律男, 吉江弘正: 口腔扁平苔癬におけるサイトカイン遺伝子 8 種類の SNP 分析. 第 50 回日本口腔外科学会総会, 大阪市. 日本口腔外科学会総会ゴールドリボン賞. 2005 年 10 月 25 日

摂食機能再建学分野

【論文】

- 1) Yamada K, Tsuruta A, Hosogai A, Kohno S, Hayashi T, Hanada K: Condylar bone change and sagittal incisal and condylar paths during mandibular protrusive excursion. J Craniomandibular Practice, 23(3):179-187, 2005.
- 2) Stegaroiu R, Watanabe N, Tanaka M, Ejiri S, Nomura S, Miyakawa O: Peri-implant stress analysis in simulation models with or without trabecular bone structure. Int J Prosthodont 19(1): 40-42, 2006.
- 3) 大山喬史, 河野正司, 小林 博, 古谷野潔, 野首孝祠, 馬場一美: 咀嚼能力検査法のガイドライン. 日本歯科医学会誌, 24: 39-50, 2005.
- 4) 本間 濟: 食塊形成能を考慮した補綴治療評価法の開発. 日本顎口腔機能学会雑誌, 12 (1): 50-51, 2005.
- 5) 本間 濟, 河野正司: 咀嚼回数をを用いた補綴治療効果の評価. 新潟歯学会誌, 35 (1): 63-65, 2005.
- 6) 櫻井直樹, 河野正司, 小林 博, 鈴木一郎, 八木 稔, 宮崎秀夫, 野村修一, 林 孝文, 山田一尋, 星名秀行, 高木律男, 寺田員人, 荒井良明, 本間濟: ネットワークを活用した顎関節症患者遠隔診断支援システム構築のための予備的調査. 新潟歯学会雑誌, 35 (1): 29-39, 2005.
- 7) 本間和代, 河野正司, 本間 濟, 櫻井直樹: 自由

咀嚼と片側咀嚼の機能的差異の検討. 日本補綴歯科学会雑誌, 49 (3): 459-468, 2005.

- 8) 伊藤圭一, 野村章子, 丸山 満, 本田岳史, 高見大介, 山田一穂: 使用義歯と技工用シリコン印象材を応用した研究用模型と個人トレー製作法の紹介. 日本歯科技工学会雑誌, 26 (2): 194, 2005.

【著書】

- 1) 河野正司(分担執筆): 歯と噛み合わせ, 食感創造ハンドブック(編集 西成勝好他). 43-48 頁, サイエンス フォーラム社, 東京, 2005.
- 2) 河野正司: 咀嚼・唾液・義歯の関連 - よく噛むと唾液がでる/唾液が出るから食べられる -, 唾液による健康づくり - 明日からの臨床に取り組む - (編集: 下野正基, 奥田克爾), 日本歯科評論 増刊 2005. 141-148 頁, 日本歯科評論社, 東京, 2005.
- 3) 河野正司(共著): コンプリートデンチャーテクニク 第 5 版(編集: 細井紀雄ら). 1-205 頁, 医歯薬出版, 東京, 2005.
- 4) 河野正司(共著): 下顎運動の記録と咬合器装着, 無歯顎補綴治療学(編集: 細井紀雄, 平井敏博). 156-172 頁, 医歯薬出版, 東京, 2004.
- 5) 小林 博: 筋活動/筋力比, よくわかる顎口腔機能 - 咀嚼・嚥下・発音を診査・診断する - (日本顎口腔機能学会編). 19-21 頁, 医歯薬出版, 東京, 2005.
- 6) 小林 博: 咀嚼筋や胸鎖乳突筋の自発放電量よくわかる顎口腔機能 - 咀嚼・嚥下・発音を診査・診断する - (日本顎口腔機能学会編). 67-68 頁, 医歯薬出版, 東京, 2005.
- 7) 河野正司: 頭部運動, よくわかる顎口腔機能 - 咀嚼・嚥下・発音を診査・診断する - (日本顎口腔機能学会編). 83-85 頁, 医歯薬出版, 東京, 2005.
- 8) 本間 濟, 河野正司: 煎餅, よくわかる顎口腔機能 - 咀嚼・嚥下・発音を診査・診断する - (日本顎口腔機能学会編). 143-144 頁, 医歯薬出版, 東京, 2005.
- 9) 澤田宏二: 白歯ガイドランス, よくわかる顎口腔機能 - 咀嚼・嚥下・発音を診査・診断する - (日本顎口腔機能学会編). 212-214 頁, 医歯薬出版, 東京, 2005.

【商業誌】

- 1) 河野正司: 咀嚼・唾液・義歯の関連 - よく噛むと唾液が出る! 唾液が出るから食べられる -. 日本歯科評論増刊, 1-8, 2005.

【研究成果報告書】